

株式会社出石

ものづくりの現場に工具・設備を
独自ブランド「ZITEC」も供給

明治末期創業の出石は、100年以上にわたり製造・加工業のために、機械工具、設備機械を提供し続けてきた。産業界が急速にグローバル化する時代を迎え、長年築き上げてきた顧客との信頼関係を基に、現場のニーズを的確に把握し、質の高いサービスと優良製品の提案で日本のものづくりの現場を支える。

100年の信頼を基礎に、未来志向で世界へ

Sustainable Action

経営環境が大きく変化する現在、「企業の持続可能性」が注目されています。このコーナーでは、新分野進出、事業転換、海外進出などの戦略により事業を持続してきた企業を取り上げ、その経営のヒントを紹介します。

ものづくりの現場に工具・設備を
独自ブランド「ZITEC」も供給

が激しく上下する中でも、当社は堅調な業績を維持してきました。それには設備や装置だけでなく、不況の時でも需要の落ち込みの少ない消耗品も同時に扱ってきたことが大きかったと考えています。

—— 自社ブランド「ZITEC」の狙いは何でしょうか？

出石 ■ 当社は1910（明治43）年の創業以来、ものづくりの現場を支える機械工具専門商社として、工業製品の製造・加工業者向けに、機械工具や設備機器などを販売してきました。現在では8万点を超える商材を全国に販売。2002年には自社ブランド「ZITEC」を立ち上げ、独自製品の開発、販売にも取り組んでいます。

—— 100年を超える歴史の中では、業績の浮き沈みもあったのでは？

出石 ■ 景気が悪くなれば、設備投資を控えますから、機械販売は景気の波を受けやすい業種といえます。しかし、業界の状況

出石 ■ 製造業の海外シフトをはじめ、日本の産業構造の転換が加速し、お客さまのニーズが多様化する中、これからは独自の付加価値を加えた売り方をしていかなければならないと考え、始めたのがZITECです。現場のものづくりに役立つ新しいコンセプトの製品を提案することを基本に、当社が企画し国内メーカーに依頼して製造する、あるいは国内ではまだ出回っていない海外製品を見つけて輸入しています。

—— 営業担当者には高い営業能力が求められますね。

責任ある仕事を任せ、
若い人材の自主性を育てる

出石 ■ お客さまの実情をすすんで把握し、どうすれば課題を解決できるかを分析し具体策を提示していく、提案型の営業を当社は目指しています。そのためには、ものづくりのプロと対等に意見を交わせる高度な専門知識と現場力、そして積極的な提案を行うための自主性を備えていなければなりません。また、お客さまの要望を海

外メーカーに伝えるなど語学力も必要になります。

—— どのように育成されているのですか？

出石 ■ 語学講座の受講料の補助、資格取得を支援する社内研修や、メーカーでの長期研修などを行っていますが、それ以上に仕事を通じて育てていくことが重要です。仕事を覚えながら自分が成長していると実感できるような環境をつくるのが経営者の務めだと考え、若手にプロジェクトリーダーなど責任ある仕事をどんどん任せています。

例えば、08年から扱い始めたフランス製の「テクノマーク刻印機」の場合、当時25歳の若手社員を営業リーダーに指名しました。刻印機は機械部品にロゴシリアルナンバー、製造日時、担当工場などの情報を刻印するもので、工業製品のトレーサビリティの必要性が高まる中、需要の広がりが見込まれています。しかし、当時は製造現場での刻印機の認知度はまだ低く、その社員はどうす

れば販売を伸ばせるか、自ら販売戦略を練り、営業先をリストアップして顧客開拓に挑みました。今では新規取引の拡大にも貢献する重要な商材になっています。

100年の信頼の財産を守りながら
時代に即した挑戦を

—— 新しいことに積極的にチャレンジされているのですか？

出石 ■ 「創業は易く守成は難し」という言葉があります。私は創業100周年となる節目の10年に5代目社長に就任しました。当社は多くの優良なお得意先に恵まれており、その信頼を大切に守っていくこと、つまり「守成」が私の大きな役目となっています。まさに守成の難しさを日々実感しているのですが、一方で守成を成すためには、新たに立ち上げていく「社内創業」が不可欠と感じています。当社が長年、事業を継続して来られたのも、時代の要請に合わせて

事業の形態を変えてきたからこそです。

グローバル化への対応と
日本のものづくりへの貢献

—— これから力を注ぎたいことは何ですか？

出石 ■ 専門性や知識をさらに深め、常に新しい商材を仕入れてお客さまに魅力を感じてもらうことが大きな目標です。特にグローバル化には力を入れていて、昨年11月には溶射加工を得意とする大阪の企業と中国・山東省に合弁会社東営出石国際貿易を設立しました。これは当社初の海外子会社で、ここを拠点に日系企業だけでなく中国の現地企業との取引拡大に取り組んでいきます。

—— 今後の抱負をお願いします。

出石 ■ 日本のものづくり産業を元気にするために、私たちは何をすべきかを大前提にして、国内だけでなく世界の新しい技術や製品の情報を探り、お客さまにご満足いただけるご提案を心掛けていきます。

※トレーサビリティ／商品が消費者の手に渡るまでのプロセスを追跡できること
※溶射加工／金属部品の表面加工の一つ。部品に特殊な金属を吹き付けて硬くすることで、対摩耗性や長寿命化を図る



株式会社出石

代表取締役社長 出石 篤氏

Profile

- 本社/京都市左京区古川町通三条上ル
- 創業/明治43(1910)年
- 従業員数/100名
- 資本金/4,800万円
- 事業内容/刻印機・高圧洗浄機・精密機械・切削工具・工作機械・その他工場用品全般の販売

<http://www.ztec-izushi.co.jp/>



国内外の展示会、商談会に出展(写真は2010年の展示会)



今後の需要の高まりが期待される「テクノマーク刻印機」



大正末期の店舗